

5 お客様・沿線の皆様とともに

2007年安全報告書 阪急電鉄株式会社

5-1 消防局との合同訓練

事故、災害時における迅速な救援、救急体制を充実するため、毎年、各車庫において、沿線の消防本部や消防局に対して、救助活動中の安全対策や車両の知識のについて講習を行った後、合同で事故復旧訓練を実施しております。

北摂地区消防本部・京都市消防局との合同訓練

下記車庫において、机上や車両を使用した講習を行った後、「軌道内に侵入した人が列車と接触して台車下に巻き込まれる事故」を想定して、被害者の救出訓練を実施いたしました。

- ・2006年6月 北摂地区消防本部 宝塚線平井車庫（2002年度から毎年実施）
- ・2007年3月 京都市消防局 京都線桂車庫（2005年度から毎年実施）



兵庫県立広域防災センター内 兵庫県消防学校

三木市の兵庫県立三木震災公園内に設立された兵庫県立広域防災センター内において、当社が寄贈した車両を用いて、列車事故に対応するための車両の基礎教育や車両機器の取扱方法等について実技指導を行いました。



- ・2006年11月 兵庫県消防学校 兵庫県立広域防災センター（2003年から毎年実施）

5-2 警察・消防署・救急病院との連携

緊急事態対策規程及び防災対策要綱には、線区及び駅と連携した救急病院、鉄道警察隊、警察署、消防署、道路管理者を記載するとともに連絡を密にして、緊急時の対応に備えております。